

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第126日

外交政策。NATOサミットはマドリッドで終了し、サポートパッケージの強化を含むウクライナへのNATOサポートを強調する共同声明が発表されました。これにより、非致命的な防衛機器の提供が加速され、ウクライナのサイバー防御と回復力が向上し、長期的な相互運用性を強化するための移行期における防衛セクターの近代化がサポートされます。長期的には、ウクライナを支援し、戦後の復興と改革への取り組みを支援します。また、NATOの指導者たちは、ロシアを安全保障への主な脅威と名付ける同盟の新しい戦略的概念を採用しました。このドキュメントは、NATOの価値と目的を再確認し、セキュリティ環境の集合的な評価を提供します。また、NATOの戦略的適応を推進し、将来の政治的および軍事的発展を導きます。また、NATOは水曜日に、同盟が最大の脅威をもたらすと指定したロシアに対抗するために設計された新しい軍事ラインナップである、2023年から30万人以上の軍隊を準備が整った状態にすることに合意しました。軍隊の配置は、中央ヨーロッパ諸国と東ヨーロッパ諸国の間で割り当てられます。ドイツのシュルツ首相は、NATOの同盟国がウクライナに財政的手段、人道的援助だけでなく武器を提供することによっても供給し続けるのは良いことだと述べました。重要なのは、NATOのリーダーが正式にフィンランドとスウェーデンを同盟に招待し、統合プロセスの始まりを示すことです。

カナダは、中央および東ヨーロッパ、およびコーカサスでの外交的プレゼンスを拡大しています。NATOサミットのフォローアップとして、カナダはエストニア、リトアニア、スロバキア、アルメニアにある現在のカナダのオフィスを本格的な大使館に転換し、ラトビア大使館を強化します。「この外交的拡大は、進化する安全保障上の脅威へのカナダの対応を導き、ヨーロッパの同盟国を支援するための政治的および経済的協力を強化し、ロシアのウクライナ侵攻の影響にさらに対抗し、その民主的発展においてアルメニアを支援するのに役立ちます」と声明は述べています。

インドネシアのジョコ・ウィドド大統領は、キーウ市とイルピン市を訪問し、後にゼレンスキー大統領と会談しました。現在、インドネシアはG20で議長を務めているため、次のサミットは今年11月にバリで開催されます。訪問中、ウィドド大統領は個人的にウクライナの大統領をG20サミットに参加するよう招待しました。ゼレンスキー大統領が「ウクライナの参加は、国の治安状況と参加者の構成に依存します」述べました。ロシアの予備大統領は、11月のイベントへの出席を確認しました。インドネシア大統領の訪問の結果、ウクライナとインドネシアの外務大臣は、短期滞在ビザの要件の廃止について、ウクライナ内閣とインドネシア共和国政府との間で合意に署名しました。

米国インテリジェンスのチーフは、ウラジミール・プーチン大統領の軍隊が段階的な利益を上げることはできたが、大きな進歩はなかったため、ウクライナでのロシアの「挽く闘争」を前に述べています。ブルームバーグは、ロシアが突破口を開くか、ウクライナが最前線を安定させ、国の南部でわずかな利益を上げることができると報告しています。それにもかかわらず、プーチンは、ウクライナの大部分を占領し、NATO同盟への加盟に向けてエッジングすることを防ぐことによって国の「中立化」を達成する機会を失っていません。

ウクライナと欧州連合は、道路貨物輸送に関する協定に署名しました。この協定により、ウクライナの航空会社がEU諸国への二国間および通過交通の適切な許可を取得する必要がなくなり、自動車の検問所を通じたウクライナ製品の輸出の停止を回避することができます。この決定は、陸路を経由したウクライナからの穀物輸出の促進にも貢献します。

ベルギーは7月1日をもって、ロシア国民への観光ビザの発行を停止します。ロシア連邦のベルギービザセンターは、学生ビザ、就労ビザ、家族統一ビザの申請のみを受け付けます。

スイスの連邦評議会は、6月29日にEUの6番目の制裁パッケージの実施を開始しました。制裁措置には、ロシアからの原油および特定の石油製品の禁止、ならびにロシア政府またはロシアに設立された法的人物および団体に対する会計、広報および事業コンサルタントの禁止が含まれます。その結果、スイスは現在、ロシアに対する新しいEU措置のほとんどを実施しています。これには、ロシア国民およびロシアに設立された組織または団体への公的契約の授与に関するEUの禁止は含まれません。

シリアは、「LPR」と「DPR」のロシアのフォーメーションの「独立」を認識しました。シリア外務省は、LDPRとの外交関係はまもなく確立されると述べました。ウクライナ外務省は、すでにこの情報に精通しており、近い将来、シリアの声明に対応すると述べました。

攻撃を受けている都市 ロシア軍はセヴエロドネツク火力発電所を破壊しました。ロシア軍は農業企業を標的とし、ドニプロペトロウシク州のゼレンドリスクにある40トンの穀物があつた倉庫を破壊しました。

占領を受けている都市 ロシアの居住者と協力者が、ヘルソン州の電気供給と配電を担当するJSC「Khersonoblenergo」を支配しました。2022年6月27日、FSBの支援と、JSC「Khersonoblenergo」の責任者の参加を得て、いくつかのオブジェクトを押収しました。

エネルギー エネルゴダール市長はザポリージャ州のエネルホダールでは、占領者はウクライナの携帯電話とインターネットプロバイダーを切断し、ウクライナの銀行システムの業務を停止したいと考えていると述べています。

人権 ウクライナは捕虜144人を返還し、そのうち95人はアゾフスタリからの軍人。中央情報局によると、解放された人々のほとんどは重傷を負い、銃弾や榴散弾による傷、爆風による外傷、火傷、骨折、手足の切断に苦しんでいます。2月に本格的なロシアの侵略が始まって以来最大の捕虜交換所になりました。全体で、アゾフスタリから約2500人の兵士が捕虜になりました。欧州人権裁判所は、ロシアに対するウクライナの訴状を受け入れました。ウクライナはロシアを軍事侵略、民間人への攻撃、その他の人権侵害で非難している。合計で、欧州人権裁判所は現在、ロシアに対する5つのウクライナの訴状と、クリミア、ウクライナ東部、アゾフ海での事件を含む、戦争に関連する8,500件の個別の訴訟を検討しています。

エネルギー安全保障 国際原子力機関 (IAEA) は、ロシア軍に包囲されたザポリージャ原子力発電所に設置された監視システムとの遠隔通

[信を再び失いました](#)。一方、NPPにいるロシアの侵略者は、核の危険を生み出す可能性のある労働者が所有する架空の武器を探している間、冷却プールを排水することを計画している、と「エネルギーアトム」は[報告します](#)。侵略者は、ウクライナの原子力発電所の労働者が発電所の領土内に武器を保管していると非難する根拠を探しています。

文化 ポーランド、チェコ共和国、スロバキア、エストニア、リトアニア、モルドバ、ルーマニア、ハンガリーの文化大臣は、ウクライナの文化情報政策大臣であるオレクサンドル・トカチェンコの招待を受けて、リヴィウとラトビアでオンライン会合を開きました。大臣は、さらなる復興と保存を含む文化政策の分野における各国間の協力について話し合い、共同宣言に[署名しました](#)。宣言に署名した国々の共通の目標は次のとおりです：人類の文化遺産の一部としてのウクライナの文化遺産の保護と保存；プロパガンダや新植民地主義からの文化的およびメディア分野の保護；ウクライナに対するロシアの侵略に対抗することを目的とした共通の立場の確立です。

2022年6月22日、ロシアの公式報道機関「Rossiyskaya Gazeta」は、サンクトペテルブルクのエルミタージュ美術館の館長であるミハイル・ピオトロフスキーとのインタビューを公開しました。インタビュー中の声明によると、ピオトロフスキーは何万人もの犠牲者をもたらしたウクライナに対する不当なロシアの戦争を率直に支持しているようです。意図的に軍国主義的な語彙を使用して、ピオトロフスキーは文化を武器として扱います。「The Ukrainian Institute」は、すべてのパートナー機関に対し、ロシア国家と直接または間接的に提携している文化団体との協力を直ちに停止するよう求める[声明](#)を発表しました。

スポーツ ロシア軍はすでにウクライナの100のスポーツ施設を[破壊し、損害を与えました](#)。ウクライナ青少年スポーツ大臣ワディム・グツァイト氏が発表したように、被害は約1億3000万から1億4000万ドルに達しました。これには、完全にまたは部分的に破壊された16と、さまざまな程度の損傷を受けた84のスポーツ施設が含まれています。ほとんどの施設(44)は、ロシアの占領軍が「解放」するように来たドンバスで破壊されました。戦争が勃発する前に、ウクライナ政府は、ウクライナ全土の新しいスポーツ施設のすべての再建と建設の中で構想された国家プログラムを展開していました。

最新の世論調査 ウクライナ人は軍(97%)と大統領(84%)に高い信頼を[置いている](#)ことは、ウォールストリートジャーナルからの資金提供を受けてシカゴ大学のNORCが実施した最近の調査のデータで示されています。回答者は、次の問題を主要な安全保障上の脅威と見なしています。ウクライナへのロシアの侵略(97%)、ウクライナの高官と富裕による汚職(85%)及び貧しい経済状態(78%)です。回答者の66%は、2月24日以降にロシアが占領したウクライナの領土からロシアを追い出すことに成功していると考えています。53%は、ウクライナがドンバスとクリミア全体を含む、ロシアによる占領されているすべてのウクライナの領土からロシアを追い出すことに成功する可能性が非常に高いと考えています。

読書コーナー

- [Visiting Ukraine | Virgin](#)
- [‘Ukraine has never left me’: An Interview with Dmytro Kyyan | apofenie](#) — ドムイトロ・キヤンは、ハルキウ出身のウクライナ系アメリカ人の作家、編集者、翻訳者です。1990年代から2009年まで、キヤン氏はFoto & Video Magazineの編集長を務め、彼の指揮の下ロシアだけでなく東ヨーロッパ全体で写真の主要な出版物になりました。雑誌の犯罪的乗っ取りに続いて、キヤンはモスクワを去り、ニューヨークに定住し、そこで翻訳者と教師として働き続けました。彼の翻訳とインタビューのおかげで多くのウクライナの作家を英語の読者に紹介することができました。ソビエト連邦でウクライナ人が育つこと、ロシアのウクライナ侵攻が両国の人々の関係をどのように変えたか、ウクライナの若い世代を誇りに思っている理由などについてのインタビューを読んでください。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年6月30日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました：人員約35,600人、戦車1573台、装甲戦闘車両(APV)3,726台、砲兵システム790台、多連装ロケットシステム(MLRS)246台、対空戦システム104台、固定翼航空機217台、ヘリコプター185台、軽装甲車2,602台、ボートおよび軽装ボート14台、運用戦術レベルUAV641台、特殊装備61台、移動式短距離弾道ミサイルシステム142台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [「Hospitallers」という医療大隊](#)を支援してください。「Hospitallers」は2014年からホットスポットで作業している救急医療ボランティア団体です。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！